



本年もよろしくお願い申し上げます

それいゆ 広報

Vol.132

医療法人同仁会

■介護老人保健施設 それいゆ

TEL0577-35-3030

■桐生クリニック

TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063

■折茂医院

TEL0577-34-5025

■それいゆ訪問看護ステーション

TEL0577-37-5260

■ヘルパーステーション それいゆ

TEL0577-37-3360

■病児保育室プティそれいゆ

TEL0577-35-2525

■ケアプランセンター それいゆ

TEL0577-35-3770

■ショートステイ それいゆ

TEL0577-35-0710

■シャロン・ド・それいゆ

TEL0577-34-5026

■Dr. Orishige ビオメゾン

TEL0577-37-0800

■デイサービスセンター れざみ

TEL0577-37-5666

■りあん・ど・それいゆ

TEL0577-32-8166

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大勢の皆様にご多大なご支援を賜りました。心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスは世界中を席捲し、さらに次々変異し現在はオミクロン株の感染拡大が懸念されています。我々人類はさまざまな感染症、気候変動、自然災害を克服して生存してきました。このような現象は我々人類が生存するための宇宙の摂理だろうと思います。我々個人においても生まれてから死ぬまでにはさまざまな病気、事件、災害に遭遇します。

私は今年二月で八十四歳になりますが生まれ落ちてから現在までいくつかの病気、自然災害、事件に遭遇してきました。そのどれもが絶望的なほど大変なものでしたがそのどれもが現在の私を形成しています。昨年十一月二日に肝臓がんの切除手術を受けました。余命がどれくらいあるかは神のみぞ知るところです。私の肝臓がんは老健それいゆにはすくなくからぬ因縁があります。

四十歳の時愛知がんセンターで約三千ccの輸血を受け肝臓「C型」になりました。その当時は肝臓の病因はおろか治療法がありませんでしたが病気の経過としては約十五年で肝硬変二十五年前後で肝臓がんで死亡するというようなことは分かっていたました。不治の病と思っていた肝臓が五十五歳の時インターフェロン治療で運よく完治しました。十五年に

わたる闘病生活中には予測不能であった未来が新しく出現したわけです。医療以外にもう少し広く世のため人のために奉仕するよう天からのメッセージに違いないと思いました。

たまたま妻の佑子が高齢社会をよくする会の高山支部長を受けて、土野市長に老健の新設の嘆願をしたところ市では財政的に困難であるから民間でお願いしたいと断られたところでした。それを聞いて悶々としたものがあり早速建設申請をしました。五十七歳の時です。病院関係者、大学の同級生など知人に相談しましたがほぼ全員が個人の開業医レベルでは事業規模が大きすぎるので無理だろうと反対されましたが決意は変わりませんでした。

ところが不思議なことにとこからともなく協力者が次々に現れて紆余曲折のうちに五十九歳で老健は完成してしまいました。C型肝炎による十五年間の闘病生活がなければ福祉の仕事はしていません。事業を起こすことは常に倒産との背中合わせであります。そのような冒険は冒してはいません。現在解決困難な問題に直面し健康体ではありませんが社会奉仕という理念のために三百六十五日二十四時間頑張っているところです。

困難に遭遇することは大きな飛躍の前触れだろうと信じています。人生百年時代の先駆けになれば有難いと思っています。



新年のご挨拶

医療法人同仁会
理事長 折茂謙一

介護老人保健施設
それいゆ

A group of five people, likely medical students or staff, are posing in a hospital hallway. They are all wearing white lab coats. One person is sitting on a medical examination table in the foreground, while the others stand behind them. They are all making peace signs with their hands. The hallway has a polished floor and some medical equipment is visible in the background.

最後に、リハビリ室の職員は増えたものの、その半分は若手であり、まだまだ未熟です。私も含め、至らない点が多々あるうと思っていますが、皆様の叱咤激励で温かく育てて頂ければ幸いです。どうぞ宜しく、お願い致します。



そして、一月より二名のベテランスタッフが加わり十一名体制となります。増員に伴いより良いサービスの提供をしていきたいと思っています。看護としては



そして、看護・介護ともにいつでもどんなことでも相談しやすい雰囲気づくりをしています。



通所リハビリテーション

介護長 白川 浩代

文化作品展 11月5日～11日



お年時記



餅つき&花餅づくり 12月27日



高山4Hクラブ様慰問

安心安全な地場産野菜・お米など沢山頂きました。ありがとうございました。



永年勤続表彰

勤続二十年並びに十年を迎えた職員の特別表彰が、一月四日老健それいゆにて行われ、理事長より感謝状と記念品目録が贈呈されました。心よりお祝い申し上げます。



【勤続二十年】

りあん・ど・それいゆ

管理者 阿礼由美香

介護老人保健施設それいゆ

事務長 一戸康弘

【勤続十年】

介護老人保健施設それいゆ

看護介護部介護福祉士

田之下 都

看護介護部介護副主任

清水圭子

リハビリ室理学療法士

古田 光

ショートステイそれいゆ

介護副主任 中村生恵

それいゆ訪問看護ステーション

訪問看護師 渡邊みのり

訪問看護師 山口恵佐美

りあん・ど・それいゆ

勤続二十年。関わってくださっているすべての方に感謝し、毎日を大切に悔いのない日々を送る努力を惜しまない。(阿礼)

ご利用者・ご家族様に寄り添いながら、地域で快適に暮らせるよう支援していきたい。今年は節目の歳、今できること、やりたいこと等多いにチャレンジしていく。(小林)

以前一緒に働いていた方の言葉「あなたより一杯でも多くご飯を食べた人はあなたにとって先輩」理想・尊厳・謙虚を胸に働く。(平田)

「山溜穿石」小さな努力でも根気よく続ければやがて成功する。どんな小さな事でも利用様と一緒に取り組んでいく。(所附)

主体性の取り組みを行う。利用者様へも職員に対しても「やってみよう」に繋がる働きかけを行う。(林)

思うような配慮ができず、職員の力を借りる場面が多かった。「あんたでよかった。ありがと」と言ってもらえる職員になる為、スキルを磨く。(山本)

「虎穴に入らずんば虎子を得ず」大きな成果や利得を望むなら、大きな危険は避けられない。何事にも思いっきり取り組む。(中本)

その日その時の利用者様の状態に応じて、スタッフと相談し、食事形態等を考慮できた。食中毒に十分注意し、安心して召し上がって頂けるよう感謝し業務を行う。(村川)

入社して一年、確認不足により周囲に迷惑をかけてしまう事が多かった。報連相確を忘れず丁寧な仕事を心がける。(舟坂)

ご利用者・家族様をはじめ、地域の方・りあんの運営に関わって下さるすべての方に感謝し、今年も邁進してまいります。



質の向上に向けて

新春のお喜びを申し上げます。昨年はコロナ感染予防に追われた一年でした。不安な毎日を送られた事と思います。十二月には、コロナ感染も落ち着き「ほっと」一息、でもまだまだコロナ感染の終息には時間がかかりそうです。

シャロンでは自己評価と外部有識者による運営委員会、内部研修の実施等により常に『質の向上』に努力してまいりましたが、介護の難しさに苦慮することも多々あります。

シャロン・ド・それいゆ

管理者 牧田 功



利用者様の尊厳を大切にしながら安心して生活を送っていただけるように、より良いプランニングを行いたいと努力しております。

利用者様は多様な人生を歩んで見えました。また身体状態もみな違います。それぞれの生活、身体状態により必要なサービスも日々変化します。必要な時の必要なサービスを的確に提供できるように努めてまいりたいと思っております。

介護でお困りの時に、いつでも安心して相談が出来る事業所、利用者様に寄り添った介護の提供を目標に、これからも質の向上に努めてまいりたいと思っております。今後とも、ご指導ご支援よろしくお願いいたします。



ケアプランセンターそれいゆ

管理者 寺田 歩美

新年明けましておめでとうございます。
日頃はケアプランセンターそれいゆの事業運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度の法改正で、新たに取り組みが義務付けられた四項目（ハラスメント対策・虐待防止・感染症対策・業務継続計画の策定）に関して、法人内での委員会が発足し活動を開始しています。今後は委員会の活動を軸に、ケアプランセンターの各マニュアル作成・見直しや契約書の内容変更に取り組んでいくこととなります。法人が示す指針のもと、ケアマネジャーとして、また法人内の一員として、皆様のお力になれるように事業所としての役割や対応等について再確認する良い機会になると思っています。最近ではオンラインを利用した研修会が多く開催されるようになり、今までは参加が難しかった遠方での研修会も数多く聴講することができるようになりました。それを日々の業務や委員会活動に役立て、また自己研鑽に努めていきたいと思っています。

新型コロナウイルスの影響もまだ終息が見えない中で、私たちの暮らしは変化を余儀なくされています。今後私たちが事業を継続していくためには、このコロナ禍のように予想もなかったことにどのように対応していくか、何を優先すべきかを予め想定しておくことが求められます。すべては利用者様を守ることに繋がるということを念頭に置き、日々の業務に取り組みながら有事の際の対応等についてもしっかり考えていきたいと思っています。

今後とも、ご理解ご協力を賜りますようお願い致します。



それいゆ訪問看護ステーション

管理者 白川 教子

新年あけましておめでとうございます。
近年、高齢化に伴い看取りをめぐる在宅医療ニーズはますます高まりを見せています。

二〇五〇年までに、地域包括ケアシステム構築に向けて訪問看護の量的拡大・訪問看護の質の向上・穏やかな人生の最終段階を支える看護専門職の育成をうたっています。

死に逝く人と家族の生活を支援する訪問看護師の担う役割は今後更に重要さを増すと考えられます。自分も訪問看護師として、今年の課題、目標として、エンドオブライフケアを担う看護職の看取り・グリーフケア教育を重視していきたいと思っています。

もう一つ、現在の災害で医療職のストレス・メンタルが問題になっています。

看護師のストレス原因として患者さんとの死別による悲嘆、感染に対しての恐怖が大きな要因といわれています。しかし、一方、ケアの提供を通して自己の達成感・やりがい・専門職の成長にも繋がっています。悲嘆・恐怖と同時に、人間として内なる強さを身に付ける事が、重要だと思っています。流されず、強く、心も健康でありたいと思います。



ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 野島 尚子

謹んで初春のお慶びを申し上げます。旧年中は、利用者様、ご家族様、事業所様をはじめ皆様からのご利用を賜りまして、スタッフ一同心より御礼申し上げます。

ヘルパーステーションそれいゆでは、現在正職2名登録ヘルパー一名で自宅にて生活されている方のご家庭へ訪問させて頂き、様々なケアを行っております。その為、引き続き新型コロナウイルスの感染が懸念されている中、私達訪問介護職員は「訪問前後の手洗い・手指の消毒・検温・お互いにマスクの装着」を実施し、さらに換気を行い・長時間の密接を避け「うつらない・うつさない・拡めない」を心に置き、今後も感染予防対策を行っていき、利用者様・ご家族様の安全を徹底いたします。

本年もより一層のサービス向上を目指し、日々の業務について、自問自答し最大限の努力をする所存でございます。何卒昨年同様のご利用を賜りますようお願い申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



Dr. Oori-Sai-Bojo Men

リーダー 砂田孝子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終わりが見えない中で、普段通りの生活が行えず面会も制限があり、ご利用者様、ご家族様にはご不便をお掛けし大変申し訳なく思っております。

さて、バイオメンでは、利用者様へ質の高い介護が出来る様、スタッフの技術、知識のスキルアップに、日々努力しております。

また、スタッフ間の「報告・連絡・相談・確認」をしっかりと行い、「コミュニケーション能力を向上させ利用者様へ寄り添った介護ができるように取り組んでおります。

コロナ禍ではありますが、関係者の皆様には、ご理解、ご協力を賜り、今年もバイオメンをよろしくお願い致します。



報告



新年あけましておめでとうございます。
十一月よりショートステイそれいゆの主任となりました向川原です。元氣と笑顔をモットーに頑張ります。よろしく願います。
長期化しているコロナウイルス感染症により、行

ショートステイそれいゆ

主任 向川原 由美

動の制限や普段よりも体調の管理が厳しい中ご利用者様及びご家族様には、ご不便をおかけしております。しかし、現在まで感染者を出すことなく過ごしていることは、皆様の協力のおかげと大変感謝しています。ショートステイそれいゆでは、「虐待防止」「感染対策」「ハラスメント対策」に、より力を入れ学習会や研修を行い、スタッフ内でアンケート調査を実施。「虐待」「ハラスメント」の早期発見・早期対応が行える体制を整えているところです。

利用者様をはじめ、ご家族様にも安心・安全に利用して頂けるよう、スタッフ全員が知識と技術の向上に取り組んでいます。

また、ショートステイ利用中、楽しく過ごしていただけるようにスタッフも工夫をしてより充実したレクリエーションができるよう取り組んでいます。どうぞお楽しみに！



デイサービスセンターれざみ

管理者兼機能訓練指導員 宇田輝彦

今年よりデイ

サービスセンター
れざみの管理者兼
機能訓練指導員と
なりました理学療
法士の宇田輝彦と
申します。

これまでは老健
それいゆの主任理
学療法士として勤
務しており、リハ
ビリテーションを
通じて利用者様と
関わらせていただきました。

新たにかかわるデイサービスの皆様とは障害
などによって減ってしまった仕事を、志す事と
書いて『志事』に置き替え、前向きな活動をサ
ポートできるよう取り組んでいきます！



新年あけましておめでとうございます。
昨年は制限がありながらも、多くの保護者
様にご利用いただきありがとうございました。

昨年来の新型コロナウイルスの流行以
来、子ども達の保育環境も大きく変化しま
した。リモートワークなどにより親御さん
が家庭で過ごす時間が増えたことで、家族
同士の接触が密になり愛着が深まる反面、
外との関わり・支援が少なくなり育児不安や
育児の負担が増す事もあります。ましてお
子さんが病気の時、ご家族の不安やストレ
スも強くなります。病児保育の役割は、親
御さんの就労支援という認識が一般的です
が、実は子どもにとって最良の保育環境を
調えるという役割があります。

病児保育室プティそれいゆ

管理者 中谷 美穂



子どもは、体・心・社会全ての面が健康であるこ
とが大切であり、病児保育はそれを支えるための家
族も含めたトータルな育児支援の場でもあります。
そのような社会のセイフティネットとして、お子さ
んとご家族に寄り添える病児保育室であるようより
一層努めてまいります。今年度もどうぞよろしくお
願いいたします。

感染対策委員会から 皆様へ

看護介護部長 今井靖子

コロナ禍になり二回目の新年を迎えようとしております。

ご利用者様ご家族様には、二年にも及ぶ新型コロナウイルス感染症対策に、ご理解ご協力をいただき深く感謝しております。収束とも思えるほど感染者が減少しております。十一月末には、厚生労働省から社会福祉施設等における対面での面会、ご利用者様の外出について検討するよう通達がありました。当施設では、ご利用者様ご家族様のお気持ちをご考慮し、対面での面会を可能にできないか検討いたしました。しかし、厚生労働省の示す感染防止対策は厳しく、対面での面会は難しいと判断いたしました。引き続きご負担ご迷惑をおかけすることになります。今後ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

リモート面会については、制限はありますが枠を拡大しております。飛騨地域以外のご家族であっても面会が可能な場合があります。お気軽にお問い合わせください。また、三回目の新型コロナウイルスワクチンのクーポン券がご自宅に届きましたら、施設にお持ちくださいますようお願い申し上げます。

基本的感染対策を徹底し、ご利用者様に安全・安心・安楽なサービスを提供させていただき、施設内であっても笑顔で新年を迎えていただけるよう努めて参ります。

スタッフ大募集

家庭的な雰囲気とチームワーク
で皆さんを支えます！

【募集求人】

- ①管理者・ケアマネ(小規模多機能)
- ②看護師・准看護師(折茂医院・老健施設)
- ③介護職
(老健施設・訪問介護・小規模多機能・有料老人ホーム)
- ④支援相談員・ケアマネ(老健施設)
- ⑤送迎運転手(デイケア)

- 資格/18歳以上(介護職は資格取得見込可)
- 時間/シフト制(応相談)
- 給与/当法人の規定による
- 休日/1ヵ月単位の変形労働時間制、年間休日105日
- 社会保険完備、各種手当有り、福利厚生有り



- 子育て中でも職場のスタッフがフォローしますので仕事がしやすい環境です
- 産休・育休等、安心の福利厚生
- Dr.が24時間対応だから夜勤も安心です
- パート希望の方はご相談下さい
- 20～70才代まで幅広い年代が在職し家族のような雰囲気です



全国老人保健施設協会
イメージキャラクター
ROKEN くん

編集 後記

新年がスタートしました。二〇一九年十二月末から始まりコロナ禍という言葉が日常茶飯事に使われるようになって二年が過ぎ、いつまで続くのだろう、という思いが人々の胸の内にあると思います。そのような中で、二〇二一年九月にデジタル庁が発足しました。未来志向の情報システムの構築を官民一体となって推進する、というコンセプトです。対面からオンラインで業務連絡や決済のやり取りする方式はまさに今の世界の状況に見合った政策なのでしょう。

介護保険制度の中でも昨年春から老健施設などで取り組んでいる『自立支援』『科学的介護』の推進によるライフ加算もその一つといえます。ケアの質の向上のためのデータを厚労省に送り、評価されたものがフィードバックされてくる。なかなか大変ではありますが、システムの構築を職員一丸となって取り組んでいます。一般の人々の生活の中でもデジタル化は驚くべき速さで浸透しています。デジタル加工技術は目を見張るもので、その場に居ない人を上手に加工して映像に入れ込んだり、理系系のユーチューバーさんは旦那さんの為に自身をプログラムで作成してどこそこに行きますよとバック設定を変化させて画像編集をされています。

またIT企業の社長がAIに学習させて自分の代わりに取引先と仕事させて自分は海辺の釣りに興じていたり…。まさに毎日、目に映る映像が果たして実態なのか創作なのか判断がつかない世になっていきそうです。私達の医療法人同仁会でもデジタルで対応出来るものは活用を推進し、現場で実際関わってお話したり、ケアの提供させていただくことを大切に頑張っています。どうぞ、本年もよろしくお願いたします。

